

子どもたちをみんなで支える「地域とともにある学校づくり」

安城市コミュニティ・スクール

安城市コミュニティ・スクールは、地域とともに、地域ならではの魅力ある学校づくりをしていくための新しい仕組みです。

「コミュニティ・スクール」とは



「学校運営協議会」を設置した学校のことです。この協議会は、地域住民や保護者、学校の先生等が集まって、子どもたちへかける願いとその実現についてできることについて話し合うとともに、未来を生きる子どもたちに必要な具体的な活動を地域と学校が協働して行う新しい仕組みです。

多様な人が交流し多様な学びが生まれ、学校が多くの子どもたちの居場所となるように。そして、学校を拠点として、誰ひとり取り残さない空気に満ちた地域が広がっていくよう、成果を急がず、語り合いをベースに学校にあった活動を進めていきます。

学校運営協議会 ではどんな話し合いをするの？

参加者が学校運営のよきパートナーとして

Let's (みんなで一緒にやりましょう)

という姿勢で話し合います。

例えば… 学校の課題に対して、協議会でできることを話し合い、取り組みます。

校長

「素直で優しい本校の子どもたちが、主体性を発揮し自己決定のよさを感じてほしい」と願っています。ご意見をお願いします。

委員

うちの学校の子どもたちにぴったりの願いだと思います。ボランティアで地域行事の手伝いをしてくれていた子どもがいて、自分の仕事が終わると、次に何をやりますか？と聞いてくれ、すごく明るい顔でがんばっていました。

委員

私は町内会で防災を担当しています。学校の授業と連携して、子どもたちも一緒になって自分たちの暮らす地域の防災について考え、行動できる場をさらに充実させてみてはどうかと考えています。

委員

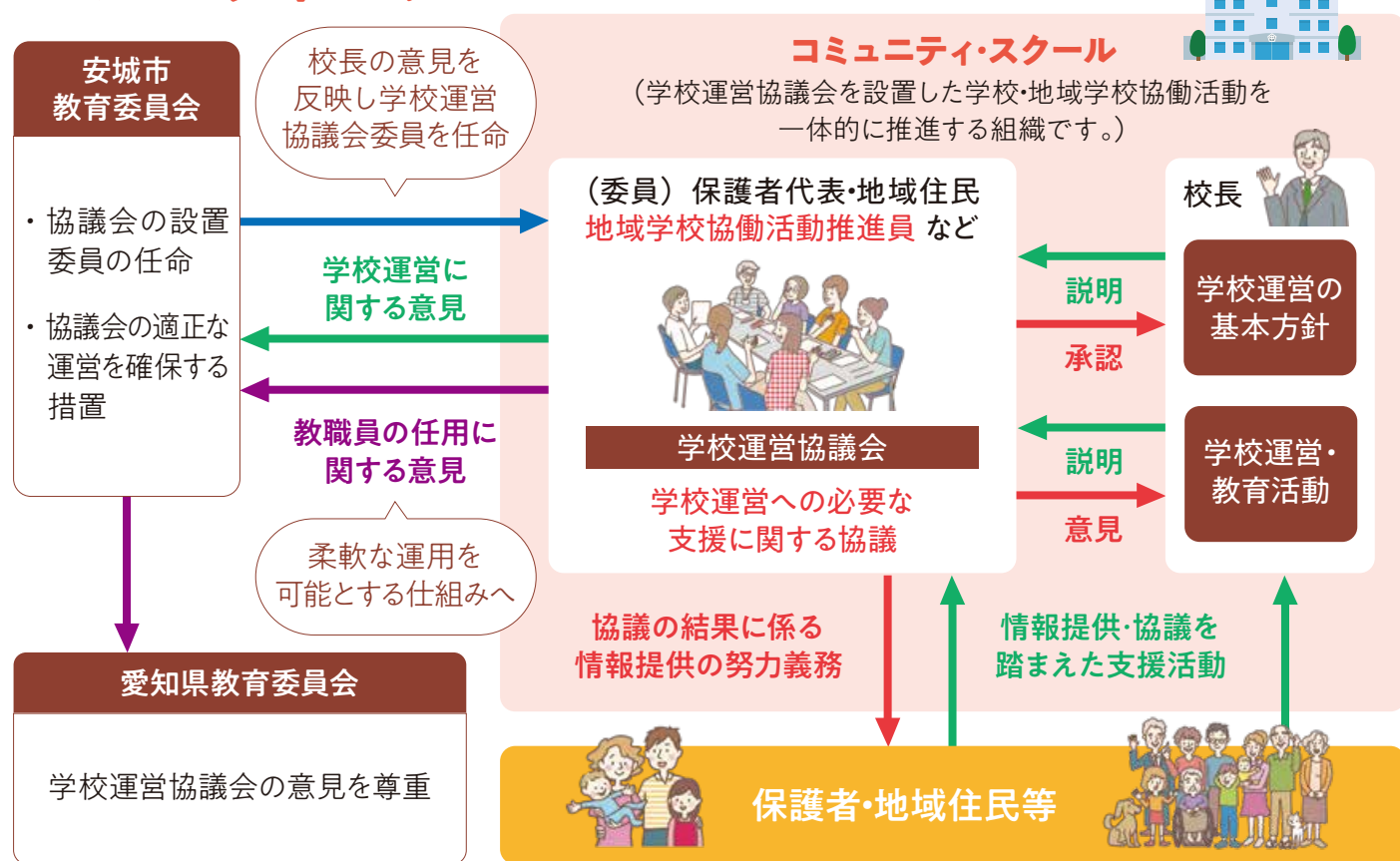
そのために、まずは、総合的な学習の時間で地域を支えている人と交流してみてもいいでしょうか。私も先生と相談して、どんな人材が子どもたちの意欲を引き出せるのか、地域で探してみたいと考えています。



未来を生きる子どもたちのために、今私たちができることを話し合い、地域と学校が一緒になって、みんなが楽しく、わくわくするような活動を行いましょう。

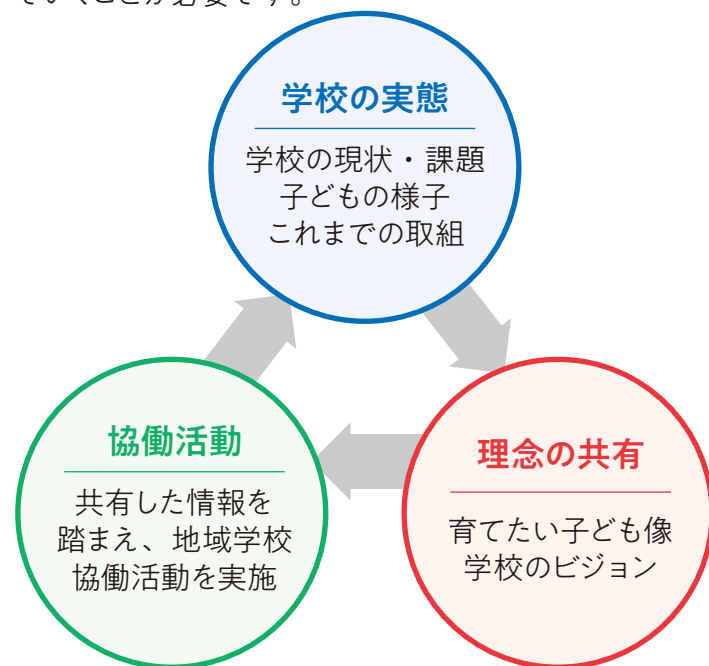


コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の仕組み



学校運営協議会の進め方のポイント

協議会では、子どもたちが抱える課題に対して、当事者意識をもって、まず話し合いをすることが大切になります。その際、次の3つの視点で話し合いを重ねていく必要があります。



委員全員が学校の実態と理念を共有し、お互いを補い合いながら、効果的な地域学校協働活動を作り出していく必要があります。この好循環を皆の力で作り出しましょう。

協働活動の事例（県内他市）

プリントの丸付け「ねこ丸隊」（瀬戸市）

長根小学校では、始業前の10分間、漢字や算数のプリントに子どもたちが取り組み、その丸付けを「ねこ丸隊」と名付けた地域の方々が行っています。



ドリームの会（田原市）

「ドリームの会」は、田原市立福江中学校の生徒でつくられているボランティアクラブです。100名程が在籍し、地域からの要望に応じて休日にボランティア活動を行っています。



文部科学省HP「学校と地域でつくる学びの未来」では、地域と学校が連携して子どもたちの成長を支えていく取組の概要や事例紹介、全国の実施状況、関係法令等の資料等についての情報を発信しています。



HP